平成29年度第1回花巻市在宅医療・介護連携推進協議会　会議録

1　開催日時

平成29年12月19日（火）18時30分～19時30分

2　開催場所

ホテルグランシェール花巻３階　瑠璃の間

3　出席者

（１）在宅医療・介護連携推進協議会委員　13名

花巻市医師会会長　三浦良雄、花巻市歯科医師会会長　畠山良彦、花巻市薬剤師会会長　山田裕司、財団法人総合花巻病院外科医長　澤田正志、岩手県立中部病院緩和医療科長兼地域医療科長兼地域医療福祉連携室長　星野彰、岩手県訪問看護ステーション協議会理事　平澤利恵子、花巻市看護管理者会代表　佐藤久美子、岩手県中部地域リハビリテーション広域支援センター　高橋研介、花巻市ケアサービス事業所連絡協議会会長　狩野隆史、花巻市介護支援専門員連絡協議会会長　熊谷雅順、社会福祉法人花巻市社会福祉協議会地域福祉課長　根子裕司、岩手県中部保健所医務主幹　栃内圭子、花巻市地域包括支援センター所長　伊藤澄枝

（２）市　７名

熊谷健康福祉部長、及川健康づくり課長、高橋久雄地域医療対策室長、佐藤長寿福祉課長、久保田長寿福祉課長補佐、高橋朱里長寿福祉課包括支援係長、晴山長寿福祉課包括支援係上席主任

（３）報道関係　　岩手日日新聞社　１名

4　会議の概要

（１）開　会　進行、久保田長寿福祉課長補佐

（２）挨　拶　熊谷健康福祉部長

（３）会長および副会長選出

事務局選出に一任

会長　花巻市医師会会長　三浦良雄氏

副会長　花巻市ケアサービス事業所連絡協議会会長　狩野隆史氏

（三浦会長挨拶）

花巻市の高齢化に伴い医療･介護の必要な方がますます増え、今後は受け皿が問題となるだろう。受け皿の問題、連携の問題について、この会議ではそれを中心に考えていかなければいけない。花巻市の医療介護を発展させるために協力をお願いしたい。

（４）協　議　議長、医師会会長　三浦委員

ア　花巻市在宅医療・介護連携推進協義会の設置について　（資料１について説明）
イ　在宅医療・介護連携推進事業の取り組みについて　（資料２について説明）

（岩手県訪問看護ステーション協議会　平澤委員）
（資料２の付随資料『ベットでの簡単トレーニングメニュー他』について）
とてもいい資料だと思うが、どこまでどのように普及させていこうと考えているか。

（高橋　長寿福祉課包括支援係長）
（９ページの資料参照）協議に教具にここにあるような機関の方々に協力していただき、使ってもらっている。その試行結果をフィードバックしてもらいより良いものを構築していきたい。そのためには各団体機関の協力がとても大事となる。現在は試行段階であるが、今後様々な機会をとらえて活用できるように普及啓発していきたいと考えている。

（花巻市薬剤師会　山田委員）
現在、推進会議が毎月あり、まだこれを継続していくとのことだが、この会議の内容はそれぞれの団体で報告を受けるのか、それとも会議ごとに事務局から協議会メンバーに報告してもらえるのかどちらなのか。伝わっていない、知らない内容がある。

（熊谷　健康福祉部長）
基本的には各委員から団体へフィードバックしていただきたい。
別紙１で説明した医療介護の情報提供システムを平成30年から始めたいと考えている。それが始まれば、それぞれの機関で画面を見てもらい、そこから情報提供していく形をとれる。また、協議会だよりといった形で流していくのも一つの手法かと思う。
推進会議は残り２回あり、年間のまとめた部分を情報として提供しなければいけないと思っている。今後、情報提供の仕組み、手法についても検討していく必要があると考えていたのでその点についてご意見いただきたいと思っていた。各委員から団体へのフィードバック報告もあるだろうが、なかなかすべては難しい面もあると思う。いろいろなツールを使用して情報提供していく必要があると考えている。

（花巻市薬剤師会　山田委員）
毎月委員と会っているわけではないので、その辺の報告手法について考えていただければと思う。

ウ　花巻市在宅医療・介護連携拠点について　（資料３について説明）
（花巻市医師会　三浦委員）
今までいろいろ検討会議や協議を行ってきている。連携推進会議も６回行っており、担当委員からも報告を受けている。今まで話し合ってきたことの実績ができているのか、感じたことで構わないので、事務局から話していただきたいと思う。

（佐藤　長寿福祉課長）
実際にメンバーに入っている方も本会議にいるので、そちらから話していただけ

ると内容がより詳しくわかると思う。

（財団法人総合花巻病院　澤田委員）

推進会議のほうでは、他職種の集う会で今まででてきた問題点などについてかなり時間をかけて議論を行っているのでまだあまり進んでいないのが実情である。その中でも参考資料にでているが、家でもできるリハビリをわかりやすく提示するためのパンフレットを作った。当院理学療法士を中心として、最初は寝たきり予防だけだったが、部位の障害の方に対してもできるリハビリについての内容も作った。どうやって広めるかだが、障害の程度によってやれるものが変わる。パンフレットがある程度できたら各医療機関へ配布し、各介護職の方にもおもちいただき、主治医からリハビリの進め方について指導してもらうようにしていけば各施設などでも行えるような形が構築されていくのではないかと思う。

また、歯科医師会から意見をいただき、訪問歯科診療の申し込み方法や一般の方でもスクリーニングできるシートの作成をし、引っかかれば依頼できるような道筋も見えてきている。在宅での痰の吸引の仕方や訪問看護はどういったときに使うのかという疑問もあり、訪問看護導入の目安についても資料として出し、一般の方でもわかりやすく実際に使える形として構築している。

顔の見える関係については、他職種の集う会にいろいろな方が参加してきているので今までにない関係性ができているように思う。

（花巻市歯科医師会　畠山委員）

13ページにあるイメージ図の医療連携拠点だが、介護保険法かなにかで設置が義務付けられているのか。（いないとの返答あり）

他職種がスムーズに連携するために拠点づくりをしようという諸般の目的で作られているのかと思うが、どうもこの拠点の人の仕事が難しくなるのではないかと懸念している。何年か経過していくうちに拠点を中心に物事が進んでいくようになると思うが、ここを大事に育てていきたいと思う。

（岩手県立中部病院　星野委員）

この専任職員にどういう方を当ててどういった業務を行っていくのか

（佐藤　長寿福祉課長）

非常勤として専門職を当てていく予定。職種は未定だが、専門の方を頼みたいと思っている。当課にも専門職はいるのでバックアップしていく予定。

（岩手県立中部病院　星野委員）

花巻市の特徴としては現場の意見を大事にしながら一つ一つ組み立ている。市としてはそれをバックアップし、３医歯薬会それにOKを出しながら形づくりを行っておりとてもいい感じだなと思う。あとはこれをどうやって地域のものにしていくのかが大きな宿題であると思うのでそれをこの会議なりで考えていければいいのかと思う。

（５）　その他、次回開催について

次回開催は、現状では平成30年３月を予定している。